

令和4年度 自己評価結果公表シート

学校法人 三愛学園

1、本園の教育目標

理念：

生まれながらにして持っている人間の善意を目覚めさせ、児童それぞれの尊い素質と個性を温く培い、そして人間が成長し、生きていく為、社会に調和した人格の芽を導き育てることが本園の目的であり理想であります。社会に受け入れられない人格は本人自身の不幸は言うまでもありませんが、それはまた社会の不幸であるといえます。人間の個性と素質といった全人格の基礎が児童期に方向づけられることを思うとき、児童教育の重要性を痛感するものであります。

本園は三愛学園と称しますが、三愛とは「自愛、互愛、博愛」のことであり、自分自身を愛することの重要な意味を悟り、それから出発して他人を、また社会を広く愛するに至る人間社会における愛の調和を訴え、実践する意味であります。人類愛こそは世の中を美しく、和やかにする基盤であると確信いたし、「自愛、互愛、博愛」を本園の児童教育の基本方針に掲げております。本園はこの重要な使命を自覚し、この理想に向かつて教育の一端に貢献する所存であります。

目標：

児童期は特に心身の発育の盛んな時期です。この児童期に心情、意欲、態度、生活習慣など、生涯人格形成の基礎が培われる重要な時期であることを踏まえ、幼稚園教育要領、保育所保育指針を、そして上記の理念を基本として、下記の本園の「園訓」に基づいて「教育目標」を設定し、乳幼児の視点に立ち保育者や保護者、地域の方々の愛情、温かい見守りの中で、次世代を担う子供達が伸びやかに健やかに、その素晴らしい素質を伸ばすための土台をしっかりと作ってゆくのが本園教育と養育の大きな役割であると考えております。さらに、社会の役割、保護者の多様なニーズに対応し、地域の子育ち、親育ちの為の子育て支援の拠点として、地域や保護者との連携を図りながら、愛情と喜びをもつ子育て支援の輪を広げ、努めることを目指します。

本園の

「園訓」……自愛・互愛・博愛

「教育目標」……☆ 健康教育、情操教育、創造教育を通して、お子さまの個性をはぐくみます。

☆ 集団生活の中から、自分を知り、他人を知り、
そして自然を知る。

☆ のびやかに、そして、すこやかに。

自 愛 = 健康教育 …… 健やかに、たくましく

互 愛 = 情操教育 …… 心がはずみ

博 愛 = 創造教育 …… やるき、目の輝き

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・コロナ禍の中、感染対策拡大防止策をとりながら、子どもたちのつながりを大切にして、成長、発達を促す。実践を出し合う中、0歳～5歳迄の年齢で大切に保育・教育する点を全員で具体的に学び、子ども達を育んでいく。

3、 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・戸外で友達と体を動かしながら協調性や運動機能を高める。	・園庭で体操やサークルなど、クラス担当どうし声を掛け合って取り組んでいる。
・各クラス、実践を出し合い0歳～5歳迄の発達を学ぶ。	・年間4回に分け、実践を出すクラスを決めて足立先生のアドバイスを受け、保育に生かしている。(7/27、9/7、10/19、12/7)
・子どもに力をつける遊びや、集団づくり等に取り組む。	・コーナー遊びを見通し、補充も行っている。各クラス、グループ作り、当番活動。その都度話し合いをもって、子どもの思いを引き出している。
・危機管理意識を一人一人が主体的にもち子どもの安心、安全を守る。	・各種マニュアルを、こども園・幼稚園全員で読み合わせをし、確認をした。 ・職員会議でヒヤリハットを読み、解決策を考え実施している。
・保護者と共に子育てをすすめていく。	・子どもの気になることを保護者に話をし解決策と一緒に考えるようにしている。
・働きやすい職場づくりをすすめる。	・問題を感じたら、関係者が集ってすぐに話し合い問題解決の方向を探っている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・コロナ禍で行事の中止や縮小などがあったが、職員と話し合って子どもの為にできる事は何かを模索し、実践してきた。子ども同士の話し合いを多く持ち、配慮児を含めて共に進み、成長を促すことができた。
- 働きやすい職場づくりを目指し、職員間の話し合いを早急にもち、誰もが納得でき前向きに仕事に取り組む事ができた。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・姿勢が悪く、集中力が続かない。また転んで怪我をする等体幹の弱い子が多くなっている。	・継続して取り組んでいるリズム遊びや戸外遊びを積極的に行い、身体づくりをしていく。
・配慮の必要な子どもが増えてきている。	・個々の特性に合わせた関わり方をつかむ。小集団保育の中で安心して生活し、自分の思いをしっかり出せる様に取り組む。
・危機管理意識の強化をしていく。	・各種マニュアルを職員一人一人が携帯し、年度初めにマニュアルの見直しや学習会をする。

6、学校関係者の評価

広い園庭には四季を感じる事のできる季節のお花や、野菜栽培がされており、子どもたちがのびのびと元気に走り回っている姿があります。園では、0歳～5歳児が通っているので異年齢の子どもとの関わりがあり、自然と相手を思いやる心が育っていると思います。行事については、運動会・発表会などに加え、地域行事に参加したり、また沢山の動物が園庭に来て触れ合うことのできる移動動物園もあります。コロナ禍で例年のように全て実施する事はできませんでしたが、中でも年長さんだけで行った運動会やイベントは子どもたちや、保護者にとっても特別な思い出となり、先生方にはとても感謝しております。これからも、様々な状況にも柔軟に対応し子どもたちがのびのびと健やかに成長できるよう子どもたちに寄り添った保育をされるよう期待しております。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。

